



退院後の自宅の生活に不安がありませんか？ 今回は、訪問看護というサービスについてご紹介します！

訪問看護ってなに？

看護師、保健師、理学療法士などが自宅に訪問して、安心感のある生活を営めるよう処置や療養中の世話等をおこなってくれます。

利用者の方へのインタビュー！

<訪問看護の利用を始めたきっかけ>

○ 尿が出なくなって入院することになりました。その後、排尿するための管（カテーテル）を入れた状態で退院することになり、自宅での入浴の手助けや、身体の状態の経過を見てもらうため、家族やケアマネジャーたちと相談して利用を始めました。

Q 週に何回利用していますか。

A 週に1回利用しています。

Q 訪問看護師さんは何をしてくれるのですか。

A 退院直後はカテーテルもあって、入浴時のカテーテルの取扱いを見てもらっていました。今は、血圧を計ったり、足のむくみの状態を見てもらったり、入浴の手伝いも続けてもらっています。

Q 訪問看護を利用した感想を教えてください。

A 安心するね。何でも話ができるよ。

訪問看護師の方は本当によくしてくれているね。週に2回デイケア（通所リハビリテーション）も利用しているけど、その日以外でも自分でリハビリができるように、訪問看護師の方がリハビリの体操を作ってくれて。ありがたいです。



Q 金子まゆみ看護師の在宅医療への想いを教えてください。

A 訪問看護師として働き始めて3年が経ちました。病院とは違い、生活されている場に伺うことで、より生活に寄り添う看護の必要性を感じています。「予防的ケア」

「健康維持回復」「安らかな死」に至るまでの幅広い支援を行っています。利用者様が望むことは何なのか、一緒に悩んで考えていきたいと思っています。ご希望があれば、24時間365日いつでも相談に乗ることもできます。お困りの方は、どんな小さなことでも良いので、気軽に相談して欲しいと思います。

~ちょっといいお知らせ~

さくら市在宅医療・介護マップが新しくなりました。市高齢課、喜連川市民生活室にて配布しています。

ぜひご利用ください。

